



思い出の旧舟形小学校



『孫に伝えたい 若いころの思い出』

～舟形老人クラブ～

「お正月には凧上げて こまを回して遊びましょう  
早く来い来いお正月」

沼沢貞雄さんのハーモニカを伴奏に、ほほえみ保育園の園児達が「お正月」を元気に歌いました。12月18日、ほほえみ保育園に南天などで飾られた門松がお目見えしました。この門松は、舟形老人クラブの沼澤新さん（舟形3）らが日本の伝統的な正月飾りに触れ合ってもらいたいと毎年、作成しているものです。

舟形老人クラブ（会長沼沢貞雄さん）の会員は、平均年齢80歳以上の51名。園児と水木団子を作って交流するなど、地域に根差した活動を行っています。

この舟形老人クラブが、会誌『孫に伝えたい 若いころの思い出』を作成しました。この会誌には戦争中のことや敗戦当時の貧しい生活のことなど、激動の世の中をたくましく生き抜いてこられた人生のドラマがつづられています。作成したきっかけは、「若い頃のことを語る会」を開催したこと。みんなで語り合った中で、「貴重な体験をこのまま終わらせたくない。頑張ってきた姿を形に残して、子や孫に伝えたい。」との話が持ち上がり、苦勞の末、完成にいたしました。

「歴史を伝えることも私たちの責務。多くの方々の熱意とご協力により私たちの歩んできた道のりが一つの形になりました。」と会長の沼沢さんは話します。

現在の私たちの生活は、過去の厳しさに耐え凌いできたおじいちゃんとおばあちゃんを抜きにしては語れませんが、ここから「ありがとう」を伝えたいです。この会誌は、舟形町中央公民館などの公共施設でご覧いただけます。ぜひ手に取ってみてください。

Public Relations Funagata

広報ふながた

2010 JAN no.611

【編集・発行】舟形町役場まちづくり課  
〒999-4601 最上郡舟形町舟形263  
tel.0233(32)2111 fax.0233(32)2117  
メールアドレス kikakupr@town.funagata.yamagata.jp  
http://www.town.funagata.yamagata.jp

あなたが一番好きな「言葉」は何ですか？  
(とも)

「言葉は力」

自分で考えてこそ  
自分で噛み砕いてこそ  
自分でやってみてこそ

その子どもたち一人ひとりに贈った言葉の一つです。中には小学生では読めない漢字もあります。辞書を引いても本当の意味は教えてくれません。

「全力疾走。走る姿をみればその人の心がわかる。」

これらは、ある野球スポーツ少年団員の新年の抱負です。子どもたちがいろいろな想いで書きました。

「ホームランを打ちたい」  
「試合に出たい」  
「イチローのようにになりたい」

P.S

あとがき  
postscript